

1 日時場所 平成30年10月30日(火) 9時30分開会
南魚沼市民会館 2F和室

2 出席者

委員：南雲権治教育長、西野仁委員、今井晶子委員、角谷正雄委員、川島亜紀子委員

事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、佐藤社会教育課長、長谷川生涯スポーツ課長、阿部子ども・若者育成支援センター長、笛木管理指導主事、田中管理指導主事、田村指導主事、種村嘱託指導主事、佐藤学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、佐藤公民館主幹、学校庶務班 島田

3 議題

日程第1 **会議録署名委員の指名について**

西野 仁委員、川島 亜紀子委員

日程第2 **教育長及び事務局諸報告**

(教育長) 教育長及び事務局諸報告について各担当より報告。

(西野委員) 土曜学習の高校生ボランティアについて、身分や立場等はどうだったのか。

(笛木管理) 今回は何の謝礼も補償も出来ない、あくまでボランティアでということで声掛けしたが4名の生徒が来てくれた。その辺の対応は今後の課題。

日程第3 **管理指導主事等からの報告**

(笛木管理) 上田地区統合小学校のソフト面を作り上げる教職員連絡会の準備会を立ち上げ、教育課程や組織作りに係る意見交換を行った。今後11/7に第1回の連絡会を開催し、様々な協議が始まることとなる。

(田中管理) プログラミング教育について、今あるシステムと人材を有効活用するという点から、現在提供されているICT支援員とシステムを活用するという提案がある。その提案に基づいて12月～1月の間、冬休みなどを利用して各小学校2時間程度の研修を行うなど、再来年の完全実施に向け準備している。

(田村主事) 県の教職員研修計画が30年3月に改訂されたので、来年度、学習指導センターの研修もリニューアルする。今まで3～5年目の教員が、学習指導の基礎という形で年1回必ず研修を受けていたが、これを5～8年目の教員を対象とした、学級づくりを中心とした研修講座にする。また、新たに10～12年目の教員を対象として、特別支援の研修講座に必ず年1回以上参加してもらおう。現在、普通学級の先生の参加が非常に少ないが、普通学級の先生が参加すると得るものが非常に多いので、学級の中でこれを活かしてもらいたい。また、14年目以上のベテランについては、今現在、国・算・英は授業公開して研修の場を設けているが、社・理では授業公開して研修という場がなかなか持てない状況になっているので、郡市の教育振興会と連携して共催という形で授業公開できるような場を計画していきたい。

(川島委員) ICTの件を早速取り組んでいただきありがたい。今後それをどう授業に生かしていくかが課題になってくるので、ぜひ研修の充実をお願いしたい。

(西野委員) タブレット、ICTも必要なことだと思うが、How toものでやるんだったら意味がない。コンピューターの問題も含めて、本質のところをどういうふうに教えていくのか。あまりにも変化のスピードが速く、よほどそれに特化した人が教えていかないと

は無理。そういうものに興味のある人にはいいが、そうでない人には基本のところをさらっと流してもいいのかと思う。そういった戦略は出来上がっているのか。

(田中管理) 情報化推進委員会でよく検討して、タイアップしながら中身について精査していく。プログラミング教育は、論理的思考の「考え方」の部分を指導していくことが主になるので、ネットマナーについてはまた別に、生徒指導的な課題ということで各学校が取り組んでいくよう指導していきたい。

(教育長) 国の政策だからやらなければならないという訳ではないが、ユニバーサルデザインと言いながら、教員や子どもたちにとって易しくないプログラムがどんどん入ってくるので、きちんと精査しながら進めていきたいと思う。

(西野委員) 結局そういうようなことの中から、いじめなり、不登校が出てくるように思う。締め付け、がんじがらめで皆が限界に来ている。子どもたちを教育するというのは、当然のことながら、国も親もこういう子どもを育てなければと考えているに違いないが、それがエスカレートして、あまりにも小さなゲージの中に入れ過ぎてしまう。そういう状況に我々自身も早く気付く必要があるのではないかと。そうしない限り根本的な解決には程遠い。簡単な話ではないが、もう少し楽にできないかと思う。

(川島委員) 先日、地域の方の ICT の会があったが、子どもたちも満足度が高く、将来的にもプログラミングという思考は活用していかなければならない。一方で、メディアとの関わりが多様化し、無制限になってきているので、関わり方や使い方はまた別の角度から指導していく必要がある。

(教育長) 模索しながらやっていきたい。

日程第4 **第30号議案 南魚沼市学齢児童生徒就学援助申請保護者の(追加)認定について**
(庶務主幹) 9月申請分就学援助申請保護者の認定について資料説明。

(教育長) 認定することに異議ありませんか。

(全 員) なし。

日程第5 **第10号報告 第一上田・第二上田統合小学校の進捗状況について**

(学教課長) 第一上田・第二上田統合小学校の進捗状況について資料説明。

今晚の統合協議会で校名について承認いただければ、開校日・校舎の位置・校名が決まり要件が整うことになるので、12月議会に条例改正案を上程する。その後、国庫補助を申請し、32年4月の開校を目指す。

(教育長) 統合協議についてはその過程がたいへん大事で、揉めながらも、1つ1つ積み上げながら地域の人たちが決める。おおまき小のときから公募委員も入るようになった。統合ニュースも流して、その過程をきちんと踏みながら、いろいろな意見が出る事こそ大切なので、12月議会が通った暁には、次の建設の部分に向けてまた地域の人たちと進んでいきたい。

(角谷委員) 第二上田の校舎跡地を、地域としては使っていきたいという意向がある。相談に乗ってもらえるとありがたい。

(教育長) これまでもいろいろな所でそういった話があったが、五日町小の今の動きを見ながら、第二上田も大事に話を進めていきたい。

日程第6 **その他**

(1) 公民館分館廃止と地域づくり協議会への統合について

(公民館主幹) 公民館分館事業の地域コミュニティ活性化事業への移行について資料説明。

地域づくり協議会からは若干の難色を示されたが、11/2には市長・副市長へも説明し、理解を図っていきたい。

(2) 浦佐毘沙門堂裸押合い重要無形民俗文化財指定記念シンポジウムの開催について

(社教課長) 日程 12 ページ、記念シンポジウムの開催について資料説明。

(3) 南魚沼市奨学金貸与基金条例に基づく奨学生の認定方法について

(庶務主幹) 日程 13 ページ、奨学金貸与基金条例に基づく奨学生の認定方法について資料説明。

以前ご意見いただいた作文評価の取り扱いについて、申請者には来庁して作文作成をお願いすることとする。

(学教課長) 地元の中高生であれば、そのくらいの手間はやむを得ないだろうという判断。ただ大学等への進学途中で、遠方で生活している方々については、郵送により選考させていただく。向学心を持っているかの判断が付けばいいので、多少のリスクはあるが、そう問題にはならないと考えている。

(川島委員) 作文などはインターネットから拾うことが出来る時代なので、郵送に際しては、その辺の判断をきちんとしていただきたい。

(教育長) 他に質疑はありませんか。

(全 員) なし。

(4) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(9月分)

(センター長) 日程 14 ページ、9月分相談等状況について資料説明。

(教育長) 質疑はありませんか。

(全 員) なし。

(5) その他

(施設主幹) 国の方で、ブロック塀と普通教室のエアコン設置について補助金があり、統合に係った八海中・五日町小・大巻小・第一上田小・第二上田小を除いた残り 19 校の普通教室 185 室で申請を上げている。

(川島委員) 大和中は老朽化が激しいが、設置できるということでよいか。

(教育長) その方向です。

(教育長) 次回の教育委員会は、11月29日(木)9時30分から市民会館2F研修室で開催する予定。

11時50分閉議閉会